文　教　厚　生　委　員　会　会　議　録

１　期　　日　　平成２８年６月２６日（金）

２　会　　場　　第２委員会室

３　開会時刻　　午前１１時　６分

４　閉会時刻　　午後　０時１３分

５　出席者　　委 員 長　草賀　章吉　　副委員長　小沼　秀朗
　　委　　員　大石　與志登　　委　　員　山崎　恒男
　　〃　　中上　禮一　　〃　　山本　行男
　　〃　　渡邊　久次　　〃　　山本　裕三

当局側出席者　　浅井副市長、教育長、健康福祉部長、健康福祉部付参与、こども希望部長、教育部長、所管課長

事務局出席者　　議事調査係　伊藤千恵子

６　審査事項

・議案第７２号　　平成28年度掛川市一般会計補正予算（第１号）について
　第１条　歳入歳出予算の補正
　歳入中　　所管部分
　歳出中　　第３款　民生費
　　第４款　衛生費（第１項）

・議案第８５号　　土地の取得について

・閉会中継続調査申し出事項について　５項目

７　会議の概要　　別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成２８年　６月２９日

市議会議長　竹　嶋　善　彦　様

文教厚生委員長　草　賀　章　吉

７　会議の概要

平成28年 6月29日（水）午前11時 6分から、第 2委員会室において全委員出席のもと開催。

１）委員長あいさつ

２）当局（副市長）あいさつ

３）付託案件審査　〔11:08　～12:06〕

①議案第72号　　平成28年度掛川市一般会計補正予算（第１号）について
第１条　歳入歳出予算の補正
歳入中　　所管部分
歳出中　　第３款　民生費
第４款　衛生費（第１項）

〔こども希望課、説明　11:08　～　11 :13　〕
〔質　疑　11:13　～　11:32　〕

○山本裕三委員
P10、民生費補助金の中の放課後児童健全育成事業費補助金について、エアコン設置も該当するのか。

●松下こども希望課長
この補助金は、施設の備品等の購入も該当となるので、この中に含まれている。

○中上禮一委員
P21の人材育成費は、未来学会費ということで大変夢や希望の持てる事業だと思う。その中の講師謝礼とあるが、講師は決まっているのか。

●松下こども希望課長
まだ、具体的には決まっていない。今後、交渉しながら学識経験者等にお願いしようと考えている。

○中上禮一委員
想定している実践研究とは、どういった内容か。

●松下こども希望課長
3歳から 5歳の幼児教育のあり方と無償化について研究していきたいと考えている。

○中上禮一委員
いまのあり方に何か問題があるということが前提なのか。

●浅井副市長
学会について少し説明するが、幼稚園・保育園、公立・私立。認定こども園、小規模保育所等々、さまざまな組織、機関がある。そこにいる先生方は別々の取り組みをしている。これでは、掛川市の乳幼児教育が色々になってしまう。個性ある素晴らしい取り組みをしている私立もある。全体として掛川市が上がっていく必要があるので、隣の園ではどういうことをしているのか等実践交流をするべきたと考える。
教員の資質向上、園の経営も更に極めていくという考え方で、実践研究を行う。従って、各園の取り組みの交流をし、一堂に会して、大同団結をしていきたい。
特別支援教育やアレルギー対策も含めて、指導方法の充実を図っていく。
また、乳幼児保育のあり方、国の制度のあり方についてなど専門的な研究も行っていく予定

である。
　講師は、日本のナンバーワンの講師をお願いしたいと考えているため、予算が高額になっている。

○渡邊久次委員
　P21、協働保育園保育料助成費は、100人分増額するとのことだが、国定義では無く、認可保育園を希望しているが、なかなか入れないという人達も解消される方向でよいのか。

●松下こども希望課長
　4月には国定義以外の待機児童として 119人いた。その中で、約半分の方が協働保育園に入所している。認可保育園に入所できなかったがために協働保育園に入所された方に対して、認可保育園に入所した場合と同じ負担になるよう制度設定をさせていただいた。
　今後も保育園の待機児童解消には努めていけるものと思っている。

○大石與志登委員
　かけがわ乳幼児教育未来学会は、ブランコの会とは全く違う組織か。

●浅井副市長
　ブランコの会は保育園の先生方の組織である。学会が増えて先生方に負担感を与えてはいけないと考えるので、ブランコの会をどうするのか調整するために学会の準備委員会を設立する。トップとは話し合いをしている。

○大石與志登委員
　負担が増えることは心配である。忙しい中で活動しているので、できるだけ調整をしていただきたい。

○山崎恒男委員
　P21、幼児教育未来学会について、認定こども園と、幼保園の境がよくわからない。
　公立、私立の違いは何か。保育士や幼児教育士とのコミュニケーションなど円滑にいくよう学会を利用していただければありがたいと思う。

●浅井副市長
　「すこやか」のように、一つの屋根の中に幼稚園部と保育園部の二つ入っているのが、幼保園である。認定こども園は一つの中に一緒にある。掛川市の幼保園は、認定こども園に移行していく。現在は 4つが認定こども園となった。
　幼稚園の先生と保育園の先生との人事交流は、大変理解し合っている。
　南の方は、幼稚園の単体、保育園の単体となっている。

○山崎恒男委員
　認定こども園の運用について、わかりやすく説明を。

●松下こども希望課長
　幼保園というと、幼稚園のクラス、保育園のクラスとなる。認定こども園は、一つのクラスに幼稚園の子どもと保育園の子どもが一緒にいることになり、早く帰る子と遅く帰る子が混在する形になっている。午後 2時頃になると、午睡の子と帰宅する子と分かれて過ごすことになる。ある一定の時間まで、同じ時を過ごす形になる。

○山崎恒男委員
　指導者は保育士なのか。

●松下こども希望課長
　両方の資格を持った職員になる。

○草賀章吉委員長
　未来学会での委員の人数はどれくらいか。また、どのくらいのスパンをかけて研究するのか。

●松下こども希望課長
　会員は 530人くらいである。準備委員会は、市内の幼稚園・保育園等の園長で15、6人、学識経験者にお願いする特別研究委員会は14、5人くらいを考えている。スパンについては、まだ具体的に決まっていない。

○草賀章吉委員長
　0歳から 5歳を考えているか。それとも 3歳から 5歳か。

●松下こども希望課長
　0歳から 5歳を考えている。

○草賀章吉委員長
　研究についても 0歳から 5歳についてを考えるということか。

●松下こども希望課長
　研究項目によるかと思う。

○草賀章吉委員長
　質疑を終了する。

〔保健予防課、説明　11:32　～　11:35　　〕
〔質　疑　　11:35　～　11:39　〕

○山本裕三委員
　P25、Ｂ型肝炎予防接種委託料について、現在、Ｂ型肝炎が流行しているのか。

●榛葉保健予防課長
　流行しているという情報はない。致命率が高く、感染期間が長期化すると重篤になる可能性が高い疾病のため、社会的損失を防止する目的で実施するものである。

○草賀章吉委員長
　関連で、2,000回分とのことだが、 1人 2回分か。

●榛葉保健予防課長
　1人 3回である。生まれた月により、今年度中に接種できない方もいるので、その方については、来年度予算で対応していく。

○草賀章吉委員長
　P25、健康づくり普及啓発事業費について、血圧計等どこに設置しているのか。

●榛葉保健予防課長
　血圧計については、本庁入り口 1階、大東支所、山王荘、たまりーな、大須賀老人福祉センターに設置している。握力計については設置している所はない。

○小沼秀朗副委員長
　備品購入費の内訳はどうなっているか。

●榛葉保健予防課長
　血圧計は税抜きで 1台あたり 195,000円、説明パネルが税抜きで 1枚あたり 5,000円、握力計については、税抜き 1台 6,500円で見積もっている。血圧計10台、説明用パネルと握力計は17箇所に設置予定である。

○小沼秀朗委員

パネルは完成しているか。

●榛葉保健予防課長
まだである。

○小沼秀朗副委員長
「市民全員が健康になろう」というようなＰＲ的なパネルになるとありがたい。上手に広報をしていただきたい。

●榛葉保健予防課長
検討し、ＰＲに努めていきたい。

○草賀章吉委員長
質疑を終了する。

〔高齢者支援課、説明　11:39　～　11:41　　〕
〔質　疑　　11:41　～　11:43　〕

○草賀章吉委員長
健康人生設計ノートは何部ぐらい作る予定なのか。

●久野高齢者支援課長
4万部程を全戸配布する予定である。

○山本行男委員
非常に大事なことだと思うが、このノートはどこかに委託するのか。庁舎内で原案を作っているのか。

●久野高齢者支援課長
東京女子医大でエンディングノートの必要性を唱えている先生からのご助言や介護保険事業計画推進委員会のメンバーにお願いする予定である、委員会の意見を聞きながら作っていきたい。
特に市販のエンディングノートは、終活のイメージが強いノートであるため、それとは違う「健康人生設計」というイメージで作っていきたいと思っている。

○草賀章吉委員長
全戸配布時に、区長や組長を通じて配布するのでは意図が伝わらないので、説明を加えるなど、配布の仕方に工夫をお願いする。

○草賀章吉委員長
質疑を終了する。

〔学務課、説明　11:43　～　11:45　　〕
〔質　疑　　11:45　～　12:01　〕

○渡邊久次委員
補助金が付かないのは、最初からわかっていたことではないのか。今回出したことによっての結果か。

●中山学務課長
昨年の秋、予算要求時には、文科省は 2,089億円の予算要求を財務省にしているという情報であった。しかし、その後、文科省は要求額の予算確保ができなかったため、 1月中旬に採択方針が示されたが、過年度からの継続事業ではなく、新たに学校給食を開始することに伴う施

設整備でもない。財政力指数が低い地方公共団体の事業に該当することを期待していた。

○山本行男委員
　熊本地震の影響があったと聞いたような気がするが。優先順位からいくと熊本地震関連に交付金がいくが、子どもたちのためには給食センターをつくらなくてはいけないので、市単独でも特例債を使ってでもやるという説明を受けた気がするがそうではないのか。

●中山学務課長
　交付金のその後の採択という可能性があるかどうかということでお答えさせていただいた記憶がある。採択方針の財政力指数の低い地方公共団体は、 0.7に満たないところが採択されている。当市は0.91と採択要件からすると非常に優先順位が低いので、難しい状況であるということをお答えさせていただいた。
　もう一つは、文科省の交付金優先事業が、長寿命化や老朽対策を中心にやっているため、給食施設に回ってくることが難しいということである。
　もちろん熊本地震の影響も少しはあると考える。

○草賀章吉委員長
　交付までのプロセスはどうなっているのか。文科省へ交渉はしたのか。

●浅井副市長
　全力を挙げて県、国に働き掛けをした。中央小と大坂小の改築と給食センターと３つの事業があったが、そういう中で、教育長、副市長、市長も努力は最大限してきたつもりである。
　給食センターは子どもの命に関わる「食」であるので、最優先して是非建設をしていきたいという考えであり、大変ご迷惑をお掛けしたと思っている。

○渡邊久次委員
　最大限に努力したことはわかる。財源が確保されている中での事業が原則だが、それができなかったのはいかがか。

●浅井副市長
　他の交付金、補助金についても国の決定が降りるのは、当初予算ができた後に採択されるものが沢山ある。今回は大変大きなものであったが、他にも採択されなかったとか、新たに採択されたなど、国と地方とはスケジュールが揃っているわけではない。一緒に動いているので、どうしてもこのようなことが発生するというなかで、一生懸命努力しながら、こちらの思う計画のとおりになるように努力している。
　今回は、昨年まであった国の東北大震災による財源充当がなくなるが、国の大きな補正予算がつくかもしれないなど、いろんな情報が飛び交う中で、熊本地震の発生や消費税アップの話などが出てきて、こういう結果になってしまった。

○小沼秀朗副委員長
　工事は始まっても交付金が交付されることはあるか。

●中山学務課長
　交付金制度としては、工事着工後に交付決定されることはない。今回は、合併特例債で充当していき、そちらの財源でやっていきたい。

○小沼秀朗副委員長
　消費税も上がるので今やれば予算も抑えられると説明を受けた。しかし、消費税は上がらなかったので、この説明からすると今回はやる工事ではなかったと感じる。
　もう一つは、中央小が解体すると調理場がなくなるので、給食センターを建設するとの説明を受けた。中央小に限ってではあるが、他の所でまかなうことができるのであれば、今回は建設せずに、国の補助が付くまで交渉を更に続けていくということも、一つの手ではないかと考える。増税もなかったということも踏まえて、こういうことも一つの案として考えられなかったのか。

●中山学務課長
国の補助が無くなり、市の負担がどれくらいになるのか試算をしてみた。国の交付金は、 2年間で 2億 1,000万円を想定していたが、全く無くなってしまうということで、合併特例債に振り替えると補助金に相当する95％が充当されるということになり、約 2億ということになる。
起債のため、交付税措置がされると、起債の70％ということで、 1億 4,000万円が交付税措置されると試算できる。 2億 1,000万円から 1億 4,000万円を引いた金額が、 7,000万円となり、この額を市が負担するということになる。
国からの 2億 1,000万円の交付を待っていると、資材費、労務費の高騰により平成28年度の国の補助金単価が 2.2％上昇しているため、これを参考にし、事業費が18億から19億と考えると、それだけで 4,000万円以上の増額になってしまう。
中央小についても説明をしたが、ここには単独調理場あり、そこで給食を賄っている。解体すると当然他から給食を運ぶことになる。中央小は 600人と大規模なので、１箇所ないし２箇所の大きなセンターから賄うことになる。賄うセンターを全く改造しなくて対応することは難しいところである。運搬車やコンテナ等を購入または、リースすることになるので、それを含めると、概算ではあるが 2,000万、 3,000万円という予算が発生するのではと考える。
また、既存の 8調理場がかなり老朽化してきているので、この修繕でも最低限、 1,200万円以上の費用がかかるのではないかと考える。
資材費、労務費の上昇、中央小の改築に伴う給食供給対応、給食運搬の費用、 8調理場の修繕等で 8,200万円ほど増額となる試算をしている。
このような状況であり、金額で有利になるため、このまま事業を進めさせていただきたい。

○草賀章吉委員長
質疑を終了する。

〔討　論〕
なし

〔採　決〕
①議案第72号　　平成28年度掛川市一般会計補正予算（第１号）について
第１条　歳入歳出予算の補正
歳入中　　所管部分
歳出中　　第３款　民生費
第４款　衛生費（第１項）

賛成多数にて原案とおり可決

---

①議案第85号　　土地の取得について

〔こども希望課、説明　 12:02　～　12:03　　〕
〔質　疑　　12:03　～　12:06　〕

○山本行男委員
場所の確認をする。これは大池の入口のところなのか。さんりーなから少し行った右側の山でガタガタやっているが・・。
（「そこ」との声あり）
既に工事着手しているところの土地を購入する意味がわからないのだが。

●杉村こども政策課専門官
金額が大きいので議会の議決を得て正式契約となるが、今年度当初に掛川市土地開発公社と仮契約をしての着手となっている。

○山本行男委員

仮契約をし、議会の議決を求めて議案提出されているなかで、時間的に間に合わないから着手しているということか。

●杉村こども政策課専門官
単年度施工であり、 120人規模の建設を始めるには、 8月には建物の建設工事に着手しないと、来年 4月の開園に間に合わないということもあり、現在現地においては周辺の伐採や切り土などを行っている。

○草賀章吉委員長
待機児童問題もあるので、総論は賛成していただいているから、周辺の伐採など、準備から入っているということだと思うが。

○渡邊久次委員
掛川市土地開発公社から 9,815万円で購入するとのことだが、掛川市土地開発公社は地主からいくらで購入したのか伺う。

●杉村こども政策課専門官
掛川市開発公社は、平成16年度に先行取得している。現時点での簿価しかわからないが、元々宅地や畑、山林のあるところであるが、全体の面積で割ると坪平均 3万 8,000円となる。

○草賀章吉委員長
質疑を終了する。

〔討　論〕
なし

〔採　決〕
議案第85号　土地の取得について
全会一致にて原案とおり可決

４）協議事項
閉会中継続調査申し出事項について

別紙のとおり５項目で了承

５）閉会　12：13